

スケジューラ機能の仕様変更について

1.スケジューラ機能の仕様変更について

iTERAN/AE ver7.4.5 でスケジューラ機能の不具合修正に伴い、仕様を一部変更いたしました。
ver7.4.5 以降のバージョンにバージョンアップを行う場合は、自社システム等への影響がないかどうかご確認ください。

2.当仕様変更該当するパターンファイル

当仕様変更該当するパターンファイルは、以下になります。

- ①イオン様BMS 1.1/1.3 版
- ②西友様
- ③7 & i 様生鮮外
- ④コープきんき様無店舗/店舗版
- ⑤コープこうべ様

3.スケジューラ機能仕様変更詳細

【変更前】スケジューラでデータ受信をした際、1回の受信処理の中に同じデータ種のファイルが複数存在した場合、同じ内容のファイルが複数出力されていました。

【変更後】同じデータ種のファイルは1つのファイルに集約して、ファイル出力を行うようにいたしました。

例) 発注データファイル2つ、受領データファイル1つをスケジューラでまとめて受信し、ファイル出力をした場合

『受信ファイル』

- ①発注データ (A 伝票、B 伝票)
- ②発注データ (C 伝票、D 伝票)
- ③受領データ (X 伝票、Y 伝票、Z 伝票)

■改修前 (ver7.4.4 以下) の場合

『ファイル出力されるファイル』

- 1 ファイル目：発注データ (A 伝票、B 伝票、C 伝票、D 伝票)
- 2 ファイル目：発注データ (A 伝票、B 伝票、C 伝票、D 伝票) ←1 ファイル目と同じ内容
- 3 ファイル目：受領データ (X 伝票、Y 伝票、Z 伝票)

■改修後 (ver7.4.5 以降) の場合

『ファイル出力されるファイル』

- 1 ファイル目：発注データ (A 伝票、B 伝票、C 伝票、D 伝票)
- 2 ファイル目：受領データ (X 伝票、Y 伝票、Z 伝票)

※発注と受領の2つのデータ種を受信したため、2ファイルのみが出力されます。

以上